

# 港 湾 運 送 事 業 料 金 表

適 用 港

苫 小 牧 港

株 式 会 社 上 組

# 港 湾 荷 役 料 金 表

(総トン数1,000トン未満の小型船荷役料金を除く)

## I 料金の種類及び額

### 1. 基本料金

(1トンにつき 単位円)

品 目				金 額				
				接岸本船 ←→ 上屋・野積場内		接岸本船 ←→ 上屋・野積場前		
				夏期料金	冬期料金	夏期料金	冬期料金	
ユニ タ イ ズ 貨 物	コンテナ	実入	947	1,326	841	1,177		
		空	805	1,127	714	1,000		
		ノックダウン自動車・完成車(重量5トン未満かつ容積20トン未満のもの)	1,413	1,978	1,287	1,802		
		パレタイズ貨物・バンバック・バックコンテナ・プレスリング	1,777	2,488	1,619	2,267		
包	袋物	紙・ビニール入りのもの	2,614	3,660	2,363	3,308		
		麻袋入りのもの	2,187	3,062	2,008	2,811		
装	ベール物	葉タバコ	1,907	2,670	1,706	2,388		
		その他のベール物	2,603	3,644	2,343	3,280		
		モーターサイクル	2,092	2,929	1,917	2,684		
		雑貨類・機械類(1個当り5トン未満のもの)	2,723	3,812	2,494	3,492		
品		機械類(1個当り5トン以上のもの)・完成車(重量5トン以上または容積20トン以上のもの)	1,985	2,779	1,796	2,514		
		青果類	2,043	2,860	1,843	2,580		
有		タイヤ	1,854	2,596	1,705	2,387		
		巻取紙(内地産)	1,513	2,118	1,345	1,883		
姿	木 材	岸壁揚のもの	原木	米国材・南洋材	1,386	1,940	1,240	1,736
				北 洋 材	1,881	2,633	1,737	2,432
			製 材	1,502	2,103	1,352	1,893	
貨		非鉄金属類(半製品・銑鉄・地金)	2,218	3,105	1,983	2,776		
	鋼 材	一般鋼材(口径12インチ未満の鋼管含む)	2,119	2,967	1,926	2,696		
		鋼管(口径12インチ以上のもの)・コイル	1,802	2,523	1,637	2,292		
	石 材		2,139	2,995	1,976	2,766		
撤 貨 物		小麦・肥料原料・鉍礦石(粉)	1,456	2,038	1,298	1,817		
		鉍礦石(塊)・特殊鉍礦石	2,028	2,839	1,834	2,568		
		砂 糖	1,939	2,715	1,788	2,503		
特 殊 貨 物		冷 凍 品	—	—	3,895	5,453		
		冷 蔵 品	—	—	2,888	4,043		

注 夏期料金は4月1日から11月30日まで、冬期料金は12月1日から翌年3月31日までにそれぞれ適用します。

## 2. 割増料金

種 別	内 容	割 増 率
半・夜 荷 役	16時30分から21時30分までの間における荷役	基本料金の6割増
日曜日・祝祭日荷役	日曜日・祝祭日における荷役	基本料金の10割増
雨天・雪天荷役	雨天・雪天時における荷役	基本料金の1割増

## 3. 割引料金

### (1) 大口数量割引

- ① 貨物量が1,000トン以上3,000トン未満の場合、基本料金の5%引
- ② 貨物量が3,000トン以上5,000トン未満の場合、3,000トン以上の貨物量について、基本料金の7%引
- ③ 貨物量が5,000トン以上の場合、5,000トン以上の貨物量について、基本料金の10%引

### (2) 長期大量割引

同一委託者からの引受が、次のいずれの項目にも該当する場合、基本料金の5%引

- ① 3ヶ月以上の長期契約があること
- ② 1ヶ月間に2回以上の反復継続の引受があること
- ③ 1回当りの荷役量が3,000トンを超えること

## 4. 諸 料 金

### (1) 待機料金

(1口1時間につき 単位円)

1口の作業構成員数 による区分		昼夜区分				
		15人以下 (12人)	16人～22人 (19人)	23人～29人 (26人)	30人～36人 (33人)	37人以上 (40人)
昼 間 (8時30分から 16時30分まで)	夏期料金	42,520	66,290	90,090	113,900	134,320
	冬期料金	59,530	92,810	126,130	159,460	188,050
半 夜 (16時30分から 21時30分まで)	夏期料金	66,150	103,120	140,140	177,180	208,940
	冬期料金	92,610	144,370	196,200	248,050	292,520

注 夏期料金は4月1日から11月30日まで、冬期料金は12月1日から翌年3月31日まで  
にそれぞれ適用します。

(2) 最低料金

(1口につき 単位円)

昼夜区分		1口の作業構成員数 による区分				
		15人以下 (12人)	16人～22人 (19人)	23人～29人 (26人)	30人～36人 (33人)	37人以上 (40人)
昼間 (8時30分から 16時30分まで)	夏期料金	337,330	525,900	714,710	903,610	1,065,600
	冬期料金	472,260	736,260	1,000,590	1,265,050	1,491,840
半夜 (16時30分から 21時30分まで)	夏期料金	337,330	525,900	714,710	903,610	1,065,600
	冬期料金	472,260	736,260	1,000,590	1,265,050	1,491,840

注 夏期料金は4月1日から11月30日まで、冬期料金は12月1日から翌年3月31日までにそれぞれ適用します。

5. 分担金等

区分	金額
(1) 港湾福利分担金	各貨物(一律) 1トンにつき 8円
(2) 労働安定基金	各貨物(一律) 1トンにつき 7円

6. 消費税導入に伴う料金の加算  
料金の総額の3%

II 料金の適用方

1. 適用範囲

この港湾荷役料金は、当該貨物について、接岸本船の船内荷役と沿岸荷役を同一委託者から引受た場合又は、異なる委託者からであっても当該貨物に係る接岸本船の船内荷役と沿岸荷役が同量となる引受の場合等船内荷役と沿岸荷役の荷役手配が一貫して行える場合に適用します。

2. 作業範囲

基本料金が適用される作業範囲は、次のとおりとします。

ただし、関連事業に係る行為はのぞきます。

(1) 「接岸本船内↔上屋・野積場内」の場合

(揚荷) 接岸本船の本船内の貨物を岸壁上に取卸し、上屋・野積場内へ移送、併付するまでの作業。

(積荷) 上屋・野積場内の貨物を岸壁上に移送し、接岸本船内に積込むまでの作業。

- (2) 「接岸本船内←→上屋・野積場前」の場合  
(揚荷) 接岸本船の本船内の貨物を岸壁上に取卸し、上屋・野積場前又は、  
貨車・トラック等の車側へ移送する作業。  
(積荷) 上屋・野積場前又は、貨車・トラック等の車側にある貨物を岸壁上  
に移送し、接岸本船内に積込むまでの作業。

### 3. 料金表に記載のない貨物等

基本料金表に記載のない貨物については、基本料金表記載の貨物と、荷姿、作業構成員数等が類似している場合は、その貨物の料金を適用し、類似した貨物がない場合は、委託者と協議の上、決定した料金を基本料金とします。

### 4. 割増料金

割増料金の適用方は、次のとおりとします。

#### (1) 半夜荷役割増

16時30分から21時30分までの間における荷役について、所定の半夜荷役割増を適用します。

#### (2) 日曜日・祝祭日荷役割増

日曜日、祝日及び祭日における荷役について、所定の日曜日・祝祭日荷役割増を適用します。

#### (3) 雨天・雪天荷役割増

委託者の要求により雨天・雪天時において荷役を行った場合に所定の雨天・雪天荷役割増を適用します。

### 5. 割引料金

割引料金の適用方は次のとおりとします。

#### (1) 大口数量割引

委託者からの1荷役の引受において、同一貨物の量が

① 1,000トン以上3,000トン未満の場合、当該貨物の全量について基本料金の5%

② 3,000トン以上5,000トン未満の場合、3,000トン未満の貨物量については上記①の割引率を適用し、3,000トン以上については基本料金の7%

③ 5,000トン以上の場合、5,000トン未満の貨物量については上記②の割引率を適用し、5,000トン以上については、基本料金の10%

に相当する金額を、当該貨物全量について当該貨物の基本料金を乗じて得た金額からそれぞれ割引ます。

#### (2) 長期大量割引

同一委託者からの引受において、次のいずれの項目にも該当する場合は、当該

取扱貨物量にそれぞれの基本料金を乗じて得た合計金額の5%に相当する額を、当該引受に係る請求額から割引ます。

- ① 3ヶ月以上の長期契約があること
- ② 1ヶ月間に2回以上の反復継続の引受があること
- ③ 1回当りの荷役量が3,000トンを超えること

## 6. 諸 料 金

諸料金の適用方は、次のとおりとします。

### (1) 待機料金

本料金は、荷役開始時刻（昼間荷役にあつては8時30分、半夜荷役にあつては16時30分）以降における本船入港待、本船積込貨物の到着待又は、天候或いは、揚貨装置故障等による荷役待機が生じた場合であつて、昼間荷役にあつては、8時30分から16時30分までの間、半夜荷役にあつては、16時30分から21時30分までの間に発生した待機時間について、それぞれの待機料金を適用します。

ただし、待機事由が港運事業者の責に帰さないものであるときに限りま

### (2) 最低料金

本料金は、次の各号に該当する場合に適用します。

ただし、これらの場合が港運事業者の責に帰さないものであるときに限りま

#### (イ) 荷役手配の取消の場合

- ① 昼間荷役の手配申し受け最終時刻（前日の15時）以降2時間を経過してからの取消については、昼間荷役の最低料金を適用します。
- ② 半夜荷役の手配申し受け最終時刻（当日の15時）以降の取消については、半夜荷役の最低料金を適用します。

#### (ロ) 半端荷役等の場合

荷役開始後における作業中止又は、少量作業或いは、待機が伴ったこと等により、昼間荷役及び半夜荷役の区分毎に当該作業に係る請求金額がそれぞれの最低料金に満たない場合は、該当の最低料金を適用します。

## 7. 消費税導入に伴う料金の加算

免税となる取引には適用しません。

## 8. 料金の計算方

料金の計算方は、次によります。

- (1) 計算トン数は、重量、容積いずれか大なる方とし、重量は1,000キログラム、容積は1.133立方メートルをもって1トンとみなします。

なお、慣例により重量に一定の係数を乗じて得た数値をもって計算トン数としている場合には、その例によります。

ただし、コンテナは、実入・空とも20フィート型は1個当たり32トン、40フィート型は1個当たり48トンをもってそれぞれ計算トン数とします。

また、20フィート型未満のコンテナは、20フィート型を基準とする換算トン数

をもって計算トン数とし、35フィート型及び45フィート型等は40フィート型と同じとします。

(2) 割増料金が重複する場合には、基本料金にそれぞれの割増率を乗じて各割引料金を算出し、これらの金額を合算します。

また、割引料金が重複する場合には、基本料金にそれぞれの割引率を乗じて各割引料金を算出し、これらの金額を差し引きます。

(3) 消費税導入に伴う加算については

(イ) 料金の総額に3%を乗じて計算します。

(ロ) 上記により計算された金額に1円未満の端数が生じたときは1円単位に四捨五入します。

## 9. その他

(1) 本料金を適用する荷役において、「上屋出しコンテナ詰又は、コンテナ出し上屋入れ作業」、「看賞作業」、「仕訳作業」、「はい替作業」及び「上屋保管」が伴う場合のこれら諸作業に係る料金は、当港において適用される港湾荷役料金（沿岸荷役料金）のそれぞれの料金を準用します。

(2) 特殊貨物（特大型品、変質・発熱・塵埃・悪臭・汚損の甚だしい貨物、海難貨物等）及び特殊荷役（海難船・特殊船の荷役、荒天時荷役、荷印その他仕訳を伴う荷役、見本採取等を伴う荷役、沿岸荷役における長距離移送等）の場合は、基本料金のほかに、委託者と協議の上決定した金額を申し受けます。

(3) 委託者の要求により、特別の荷役機械、資材等を使用した場合及びフォアマンを増員した場合には、委託者と協議の上、別途実費を申し受けます。

(4) 本料金表に記載のない事項については、法令に反しない範囲内において当事者間の取極め又は、慣習によります。

## 港湾荷役料金表(船内荷役料金)

### I 料金の種類及び額

#### 1. 基本料金

(1トンにつき 単位円)

品 目		金 額			
		夏期料金	冬期料金		
ユニ タ イ ズ 貨 物	実入	437	612		
	コンテナ 空	371	519		
	ノックダウン自動車・完成車(重量5トン未満 かつ容積20トン未満のもの)	829	1,161		
	パレタイズ貨物・バンバック・バックコンテナ・プレスリング	1,038	1,453		
包 装 品	袋物	紙・ビニール入りのもの	1,427	1,998	
		麻袋入りのもの	1,364	1,910	
	ペール物	葉タバコ	952	1,333	
		その他のペール物	1,368	1,915	
	モーターサイクル	1,283	1,796		
	雑貨類・機械類(1個当り5トン未満のもの)	1,660	2,324		
	機械類(1個当り5トン以上のもの)・完成車 (重量5トン以上または容積20トン以上のもの)	1,094	1,532		
	青果類	1,096	1,534		
	タイヤ	1,165	1,631		
	巻取紙(内地産)	708	991		
有 姿 貨 物	木 材	水落しのもの	523	732	
		原 木	米国材・南洋材	691	967
			北 洋 材	1,219	1,707
		製 材	789	1,105	
	非鉄金属類(半製品・銑鉄・地金)		1,095	1,533	
	鋼 材	一般鋼材(口径12インチ未満の鋼管含む)	1,209	1,693	
		鋼管(口径12インチ以上のもの)・コイル	1,028	1,439	
石 材	1,394	1,952			
撤 貨 物	小麦・肥料原料・鉍礦石(粉)	700	980		
	鉍礦石(塊)・特殊鉍礦石	1,117	1,564		
	砂 糖	1,248	1,747		
特 殊 貨 物	冷 凍 品	2,801	3,921		
	冷 蔵 品	1,741	2,437		

注 夏期料金は4月1日から11月30日まで、冬期料金は12月1日から翌年3月31日までにそれぞれ適用します。



## 2. 割 増 料 金

種 別	内 容	割 増 率
半・夜 荷 役	16時30分から21時30分までの間における荷役	基本料金の 6 割増
日曜日・祝祭日荷役	日曜日・祝祭日における荷役	基本料金の10割増
雨天・雪天荷役	雨天・雪天時における荷役	基本料金の 1 割増

## 3. 割 引 料 金

### (1) 大口数量割引

- ① 貨物量が1,000トン以上3,000トン未満の場合、基本料金の 5 %引
- ② 貨物量が3,000トン以上5,000トン未満の場合、3,000トン以上の貨物量について、基本料金の 7 %引
- ③ 貨物量が5,000トン以上の場合、5,000トン以上の貨物量について、基本料金の10%引

### (2) 長期大量割引

同一委託者からの引受が、次のいずれの項目にも該当する場合、基本料金の 5 %引

- ① 3ヶ月以上の長期契約があること
- ② 1ヶ月間の2回以上の反復継続を引受があること
- ③ 1回当りの荷役量が3,000トンを超えること

## 4. 諸 料 金

### (1) 待機料金

(1口1時間につき 単位円)

1口の作業構成員数 による区分		昼夜区分				
		9人以下 (7.5人)	10人～13人 (11.5人)	14人～17人 (15.5人)	18人～21人 (19.5人)	22人以上 (22.5人)
昼 間 (8時30分から 16時30分まで)	夏期料金	25,390	38,930	52,460	66,000	76,160
	冬期料金	35,550	54,500	73,440	92,400	106,620
半 夜 (16時30分から 21時30分まで)	夏期料金	39,500	60,560	81,600	102,670	118,470
	冬期料金	55,300	84,780	114,240	143,740	165,860

注 夏期料金は4月1日から11月30日まで、冬期料金は12月1日から翌年3月31日まで  
にそれぞれ適用します。

(2) 最低料金

(1口につき 単位円)

1口の作業構成員数 による区分		9人以下 (7.5人)	10人～13人 (11.5人)	14人～17人 (15.5人)	18人～21人 (19.5人)	22人以上 (22.5人)
昼間 (8時30分から 16時30分まで)	夏期料金	201,430	308,840	416,180	523,600	604,200
	冬期料金	282,000	432,380	582,650	733,040	845,880
半夜 (16時30分から 21時30分まで)	夏期料金	201,430	308,840	416,180	523,600	604,200
	冬期料金	282,000	432,380	582,650	733,040	845,880

注 夏期料金は4月1日から11月30日まで、冬期料金は12月1日から翌年3月31日まで  
にそれぞれ適用します。

5. 分担金等

区 分	金 額
(1) 港湾福利分担金	各貨物 (一律) 1トンにつき 4円
(2) 労働安定基金	各貨物 (一律) 1トンにつき 3円50銭

6. 消費税導入に伴う料金の加算  
料金の総額の3%

II 料金の適用方

1. 適用範囲

この港湾荷役料金(船内荷役料金)は、船内荷役のみを行う場合に適用します。

2. 作業範囲

基本料金が適用される作業範囲は、次のとおりとします。

ただし、関連事業に係る行為は除きます。

(1) 揚荷の場合は、本船内の貨物をはしけ内又は岸壁上に取卸し、フックをはずす  
までの作業。

(2) 積荷の場合は、はしけ内又は岸壁上の貨物にフックをかけ、本船に積込むまで  
の作業。

3. 料金表に記載のない貨物等

基本料金表に記載のない貨物については、基本料金表記載の貨物と、荷姿、作

業構成員数等が類似している場合は、その貨物の料金を適用し、類似した貨物がない場合は、委託者と協議の上、決定した料金を基本料金とします。

#### 4. 割増料金

割増料金の適用方は、次のとおりとします。

##### (1) 半夜荷役割増

16時30分から21時30分までの間における荷役について、所定の半夜荷役割増を適用します。

##### (2) 日曜日・祝祭日荷役割増

日曜日、祝日及び祭日における荷役について、所定の日曜日・祝祭日荷役割増を適用します。

##### (3) 雨天・雪天荷役割増

委託者の要求により雨天、雪天時において荷役を行った場合に所定の雨天・雪天荷役割増を適用します。

#### 5. 割引料金

割引料金の適用方は次のとおりとします。

##### (1) 大口数量割引

委託者からの1荷役の引受において、同一貨物の量が

- ① 1,000トン以上3,000トン未満の場合、当該貨物の全量について基本料金の5%
- ② 3,000トン以上5,000トン未満の場合、3,000トン未満の貨物量については上記①の割引率を適用し、3,000トン以上については基本料金の7%
- ③ 5,000トン以上の場合、5,000トン未満の貨物量については上記②の割引率を適用し、5,000トン以上については、基本料金の10%

に相当する金額を、当該貨物全量について当該貨物の基本料金を乗じて得た金額からそれぞれ割引ます。

##### (2) 長期大量割引

同一委託者からの引受において、次のいずれの項目にも該当する場合は、当該取扱貨物量にそれぞれの基本料金を乗じて得た合計額の5%に相当する額を、当該引受に係る請求額から割引ます。

- ① 3ヶ月以上の長期契約があること
- ② 1ヶ月間に2回以上の反復継続の引受があること
- ③ 1回当りの荷役量が3,000トンを超えること

## 6. 諸 料 金

諸料金の適用方は、次のとおりとします。

### (1) 待機料金

本料金は、荷役開始時刻（昼間荷役にあつては8時30分、半夜荷役にあつては16時30分）以降における本船入港待、本船積込貨物の到着待又は、天候或いは、揚貨装置故障等による荷役待機が生じた場合であつて、昼間荷役にあつては、8時30分から16時30分までの間、半夜荷役にあつては、16時30分から21時30分までの間に発生した待機時間について、それぞれの待機料金を適用します。

ただし、待機事由が港運事業者の責に帰さないものであるときに限りです。

### (2) 最低料金

本料金は、次の各号に該当する場合に適用します。

ただし、これらの場合が港運事業者の責に帰さないものであるときに限りです。

#### (イ) 荷役手配の取消の場合

① 昼間荷役の手配申し受け最終時刻（前日の15時）以降2時間を経過してからの取消については、昼間荷役の最低料金を適用します。

② 半夜荷役の手配申し受け最終時刻（当日の15時）以降の取消については、半夜荷役の最低料金を適用します。

#### (ロ) ~~半端荷役等の場合~~

荷役開始後における作業中止又は、少量作業或いは、待機が伴ったこと等により、昼間荷役及び半夜荷役の区分毎に当該作業に係る請求金額がそれぞれの最低料金に満たない場合は、該当の最低料金を適用します。

## 7. 消費税導入に伴う料金の加算

免税となる取引には適用しません。

## 8. 料金の計算方

料金の計算方は、次によります。

(1) 計算トン数は、重量、容積いずれか大なる方とし、重量は1,000キログラム、容積は1.133立方米をもって1トンとみなします。

なお、慣例により重量に一定の係数を乗じて得た数値をもって計算トン数としている場合には、その例によります。

ただし、コンテナは、実入・空とも20フィート型は1個当たり32トン、40フィート型は1個当たり48トンをもってそれぞれ計算トン数とします。

また、20フィート型未満のコンテナは、20フィート型を基準とする換算トン数をもって計算トン数とし、35フィート型及び45フィート型等は40フィート型と同じとします。

(2) 割増料金が重複する場合には、基本料金にそれぞれの割増率を乗じて各割増料金を算出し、これらの金額を合算します。

また、割引料金が重複する場合には、基本料金にそれぞれの割引率を乗じて各

割引料金を算出し、これらの金額を差し引きます。

(3) 消費税導入に伴う加算については

(イ) 料金の総額に3%を乗じて計算します。

(ロ) 上記により計算された金額に1円未満の端数が生じたときは1円単位に四捨五入します。

## 9. そ の 他

(1) 特殊貨物（特大品、変質・発熱・塵埃・悪臭・汚損の甚だしい貨物、海難貨物等）及び特殊荷役（海難船・特殊船の荷役、沈木作業、防波堤外荷役、荒天時荷役、荷印その他仕訳を伴う荷役等）の場合は、基本料金のほかに、委託者と協議の上決定した金額を申し受けます。

(2) 委託者の要求により、特別の荷役機械、資材等を使用した場合及びフォアマンを増員した場合には、委託者と協議の上、別途実費を申し受けます。

(3) 本料金表に記載のない事項については、法令に反しない範囲内において当事者間の取極め又は、慣習によります。

## 港湾荷役料金表（沿岸荷役料金）

（総トン数500トン未満の小型船荷役料金を除く）

平成7年6月16日認可

平成7年6月24日実施

# 港湾荷役料金表 (沿岸荷役料金)

(総トン数500トン未満の小型船荷役料金を除く)

## I 料金の種類及び額

### 1. 基本料金

接岸本船船側・はしけ内 ↔ 上屋・野積場内又は、上屋・野積場前

(1トンにつき 単位円)

品 目				金 額			
				接岸本船船側・はしけ内 ↔ 上屋・野積場内		接岸本船船側・はしけ内 ↔ 上屋・野積場前	
				夏期料金	冬期料金	夏期料金	冬期料金
ユニ タイ ズ 貨 物	コンテナ 実入		560	784	448	627	
	空		476	666	381	533	
	ノックダウン自動車・完成車 (重量5トン未満 かつ容積20トン未満のもの)		658	921	526	736	
	パレタイズ貨物・バンパック・バックコンテナ・プレスリング		832	1,165	666	932	
包	袋 物	紙・ビニール入りのもの		1,325	1,855	1,060	1,484
		麻袋入りのもの		938	1,313	750	1,050
	べール物	葉タバコ		1,055	1,477	844	1,182
		その他のべール物		1,372	1,921	1,098	1,537
装 品	モーターサイクル		919	1,287	735	1,029	
	雑貨類・機械類 (1個当り5トン未満のもの)		1,206	1,688	965	1,351	
	機械類 (1個当り5トン以上のもの)・完成車 (重量5トン以上または容積20トン以上のもの)		995	1,393	796	1,114	
	青果類		1,055	1,477	844	1,182	
有 姿	タイヤ		787	1,102	630	882	
	巻取紙 (内地産)		885	1,239	708	991	
	木 材	岸壁揚のもの	原木	米国材・南洋材	768	1,075	614
			北 洋 材	761	1,065	609	853
製 材				792	1,109	634	888
貨 物	非鉄金属類 (半製品・銑鉄・地金)		1,240	1,736	992	1,389	
	鋼 材	一般鋼材 (口径12インチ未満の鋼管含む)		1,022	1,431	818	1,145
		鋼管 (口径12インチ以上のもの)・コイル		869	1,217	695	973
	石 材		858	1,201	686	960	
撤 貨 物	小麦・肥料原料・鉍礦石 (粉)		833	1,166	666	932	
	鉍礦石 (塊)・特殊鉍礦石		1,018	1,425	814	1,140	
	砂 糖		793	1,110	634	888	
特 殊 貨 物	冷 凍 品		—	—	1,299	1,819	
	冷 蔵 品		—	—	1,299	1,819	

注 夏期料金は4月1日から11月30日まで、冬期料金は12月1日から翌年3月31日までにそれぞれ適用します。

## 2. 割増料金

種 別	内 容	割 増 率
半 夜 荷 役	16時30分から21時30分までの間における荷役	基本料金の6割増
日曜日・祝祭日荷役	日曜日・祝祭日における荷役	基本料金の10割増
雨天・雪天荷役	雨天・雪天時における荷役	基本料金の1割増

## 3. 割引料金

### (1) 大口数量割引

- ① 貨物量が1,000トン以上3,000トン未満の場合、基本料金の5%引
- ② 貨物量が3,000トン以上5,000トン未満の場合、3,000トン以上の貨物量について、基本料金の7%引
- ③ 貨物量が5,000トン以上の場合、5,000トン以上の貨物量について、基本料金の10%引

### (2) 長期大量割引

同一委託者からの引受が、次のいずれの項目にも該当する場合、基本料金の5%引

- ① 3ヶ月以上の長期契約があること
- ② 1ヶ月間の2回以上の反復継続の引受があること
- ③ 1回当りの荷役量が3,000トンを超えること

## 4. 諸 料 金

### (1) 待機料金

(1口1時間につき 単位円)

1口の作業構成員数 による区分		昼夜区分					
		4人～6人 (5人)	7人～9人 (8人)	10人～12人 (11人)	13人～15人 (14人)	16人～18人 (17人)	19人～21人 (20人)
昼 間 (8時30分から 16時30分まで)	夏期料金	17,130	27,360	37,630	47,900	58,160	68,430
	冬期料金	23,980	38,300	52,680	67,060	81,420	95,800
半 夜 (16時30分から 21時30分まで)	夏期料金	26,650	42,560	58,540	74,510	90,470	106,450
	冬期料金	37,310	59,580	81,960	104,310	126,660	149,030

注 夏期料金は4月1日から11月30日まで、冬期料金は12月1日から翌年3月31日まで  
にそれぞれ適用します。



(2) 最低料金

(1口につき 単位円)

昼夜区分		1口の作業構成員数 による区分						
		4人～6人 (5人)	7人～9人 (8人)	10人～12人 (11人)	13人～15人 (14人)	16人～18人 (17人)	19人～21人 (20人)	
昼間 (8時30分から 16時30分まで)	夏期料金	135,900	217,060	298,530	380,010	461,400	542,880	
	冬期料金	190,260	303,880	417,940	532,010	645,960	760,030	
半夜 (16時30分から 21時30分まで)	夏期料金	135,900	217,060	298,530	380,010	461,400	542,880	
	冬期料金	190,260	303,880	417,940	532,010	645,960	760,030	

注 夏期料金は4月1日から11月30日まで、冬期料金は12月1日から翌年3月31日まで  
にそれぞれ適用します。

(3) 上屋出しコンテナ詰又は、コンテナ出し上屋入れ作業料金

(1トンにつき 単位円)

袋物・ペール物及びこれらに類似した作業能率のもの	2,040
雑貨類・機械類(1個当たり5トン未満のもの) 及びこれらに類似した作業能率のもの	1,851
ユニタイズ貨物、ノックダウン自動車及び完成車、機械類(1個当たり5ト ン以上のもの)及びこれらに類似した作業能率のもの	1,680

(4) 看貫作業料金

当該貨物の上屋内基本料金の3割とします。  
なお、計量器使用及び検量立会人の費用は含みません。

(5) 仕訳作業料金

当該貨物の上屋内基本料金の3割とします。

(6) はい替作業料金

当該貨物の上屋内基本料金の8割とします。

(7) 上屋保管料金

(1日1トンにつき 単位円)

貨物分類	区分	私設上屋の場合	公共上屋の場合
コンテナ (野積場)		11	36
繊維原料類		47	36
青果		47	36
窯製品		57	47
その他の貨物		85	68

- (注) 1. 公共上屋の場合の上屋使用料は、条例に基づく金額を別途申し受けます。  
 2. コンテナについては、野積場置き料金の料金をとします。  
 3. 定温保管を要する貨物については、本料金の8割増、また、くん蒸を要する貨物については、本料金の2割増とします。

5. 分担金等

区分	金額
(1) 港湾福利分担金	各貨物 (一律) 1トンにつき 4円
(2) 労働安定基金	各貨物 (一律) 1トンにつき 3円50銭

6. 消費税導入に伴う料金の加算  
 料金の総額の3%

II 料金の適用方

1. 適用範囲

この港湾荷役料金 (沿岸荷役料金) は、沿岸荷役のみを行う場合に適用します。

2. 作業範囲

基本料金が適用される作業範囲は、次のとおりとします。  
 ただし、関連事業に係る行為は除きます。

- (1) 「接岸本船船側・はしけ内 ↔ 上屋・野積場内」の場合  
 (イ) 接岸本船船側 ↔ 上屋・野積場内の場合  
 (揚荷) 本船船側にある貨物を、上屋・野積場内へ移送、拼付けるまでの作業。  
 (積荷) 上屋・野積場内の貨物を搬出し、本船船側へ移送する作業。

- (ロ) はしけ内 $\longleftrightarrow$ 上屋・野積場内の場合  
(揚荷) はしけ内の貨物を陸揚し、上屋・野積場内へ移送、併付けるまでの作業。  
(積荷) 上屋・野積場内の貨物を搬出し、はしけ内へ移送し積付けるまでの作業。

(2) 「接岸本船船側・はしけ内 $\longleftrightarrow$ 上屋・野積場前」の場合

- (イ) 接岸本船船側 $\longleftrightarrow$ 上屋・野積場前の場合  
(揚荷) 本船船側にある貨物を、上屋・野積場前又は、貨車・トラック等の車側へ移送する作業。  
(積荷) 上屋・野積場前又は、貨車・トラック等の車側にある貨物を、本船船側へ移送する作業。
- (ロ) はしけ内 $\longleftrightarrow$ 上屋・野積場前の場合  
(揚荷) はしけ内の貨物を陸揚し、上屋・野積場前又は、貨車・トラック等の車側へ移送する作業。  
(積荷) 上屋・野積場前又は、貨車・トラック等の車側にある貨物を、はしけ内へ移送し積付けるまでの作業。

3. 料金表に記載のない貨物等

基本料金表に記載のない貨物については、基本料金表記載の貨物と、荷姿、作業構成員数等が類似している場合は、その貨物の料金を適用し、類似した貨物がない場合は、委託者と協議の上、決定した料金を基本料金とします。

4. 割増料金

割増料金の適用方は、次のとおりとします。

- (1) 半夜荷役割増  
16時30分から21時30分までの間における荷役について、所定の半夜荷役割増を適用します。
- (2) 日曜日・祝祭日荷役割増  
日曜日、祝日及び祭日における荷役について、所定の日曜日・祝祭日荷役割増を適用します。
- (3) 雨天・雪天荷役割増  
委託者の要求により雨天・雪天時において荷役を行った場合に所定の雨天・雪天荷役割増を適用します。

5. 割引料金

割引料金の適用方は次のとおりとします。

- (1) 大口数量割引  
委託者からの1荷役の引受において、同一貨物の量が

- ① 1,000トン以上3,000トン未満の場合、当該貨物の全量について基本料金の5%
- ② 3,000トン以上5,000トン未満の場合、3,000トン未満の貨物量については上記①の割引率を適用し、3,000トン以上については基本料金の7%
- ③ 5,000トン以上の場合、5,000トン未満の貨物量については上記②の割引率を適用し、5,000トン以上については、基本料金の10%に相当する金額を、当該貨物全量について当該貨物の基本料金を乗じて得た金額からそれぞれ割引ます。

(2) 長期大量割引

同一委託者からの引受において、次のいずれの項目にも該当する場合は、当該取扱貨物量にそれぞれの基本料金を乗じて得た合計の5%に相当する額を、当該引受に係る請求額から割引ます。

- ① 3ヶ月以上の長期契約があること
- ② 1ヶ月間に2回以上の反復継続の引受があること
- ③ 1回当りの荷役量が3,000トンを超えること

6. 諸 料 金

諸料金の適用方は、次のとおりとします。

(1) 待機料金

本料金は、荷役開始時刻（昼間荷役にあつては8時30分、半夜荷役にあつては16時30分）以降における本船入港待、本船積込貨物の到着待又は、天候或いは、揚貨装置故障等による荷役待機が生じた場合であつて、昼間荷役にあつては、8時30分から16時30分までの間、半夜荷役にあつては、16時30分から21時30分までの間に発生した待機時間について、それぞれの待機料金を適用します。

ただし、待機事由が港運事業者の責に帰さないものであるときに限ります。

(2) 最低料金

本料金は、次の各号に該当する場合に適用します。

ただし、これらの場合が港運事業者の責に帰さないものであるときに限ります。

(イ) 荷役手配の取消の場合

- ① 昼間荷役の手配申し受け最終時刻（前日の15時）以降2時間を経過してからの取消については、昼間荷役の最低料金を適用します。
- ② 半夜荷役の手配申し受け最終時刻（当日の15時）以降の取消については、半夜荷役の最低料金を適用します。

(ロ) 半端荷役等の場合

荷役開始後における作業中止又は、少量作業或いは、待機が伴ったこと等により、昼間荷役及び半夜荷役の区分毎に当該作業に係る請求金額がそれぞれの最低料金額に満たない場合は、該当の最低料金を適用します。

- (3) 上屋出しコンテナ詰又は、コンテナ出し上屋入れ作業料金  
本料金は、次の作業を行った場合に適用します。
- (イ) 上屋内（コンテナフレートステーションを含む）の貨物をその上屋又は、戸前でコンテナに詰めるまでの作業。
  - (ロ) コンテナ内の貨物を取り出し、上屋内（コンテナフレートステーションを含む）に拼付けるまでの作業。
- (4) 看貫作業料金  
本利用金は、貨物の看貫作業を行った場合に適用します。  
ただし、計量器使用及び検量立会人の費用については、本料金とは別に実費を申し受けます。
- (5) 仕訳作業料金  
本料金は、貨物の仕訳作業を行った場合に適用します。
- (6) はい替作業料金  
本料金は、貨物のはい替作業を行った場合に適用します。
- (7) 上屋保管料金
- (イ) 本料金は、船舶又は、はしけ積卸貨物を上屋その他の荷捌場において、一時保管する場合に適用します。
  - (ロ) 本料金表に記載のない貨物については、類似した保管内容（坪当りの収容トン数）の料金を適用します。
  - (ハ) 本料金の計算は、貨物搬入に日から貨物搬出の日までとします。
7. 消費税導入に伴う料金の加算  
免税となる取引には適用しません。
8. 料金の計算方  
料金の計算方は、次によります。
- (1) 計算トン数は、重量、容積いずれか大なる方とし、重量は1,000キログラム、容積は1.133立方メートルをもって1トンとみなします。  
なお、慣例により重量に一定の係数を乗じて得た数値をもって計算トン数としている場合には、その例によります。  
ただし、コンテナは、実入・空とも20フィート型は1個当たり32トン、40フィート型は1個当たり48トンをもってそれぞれ計算トン数とします。  
また、20フィート型未満のコンテナは、20フィート型を基準とする換算トン数をもって計算トン数とし、35フィート型及び45フィート型等は40フィート型と同じとします。
  - (2) 割増料金が重複する場合には、基本料金にそれぞれの割増率を乗じて各割増料

金を算出し、これらの金額を合算します。

また、割引料金が重複する場合には、基本料金にそれぞれの割引率を乗じて各割引料金を算出し、これらの金額を差し引きます。

(3) 消費税導入に伴う加算については

(イ) 料金の総額に3%を乗じて計算します。

(ロ) 上記により計算された金額に1円未満の端数が生じたときは1円単位に四捨五入します。

#### 9. そ の 他

(1) 特殊貨物（特大品、変質・発熱・塵埃・悪臭・汚損の甚だしい貨物、海難貨物等）及び特殊荷役（長距離移送、荒天時荷役、見本採取等を伴う荷役等）の場合は、基本料金のほかに、委託者と協議の上決定した金額を申し受けます。

(2) 委託者の要求により、特別の荷役機械、資材等を使用した場合には、委託者と協議の上、別途実費を申し受けます。

(3) 本料金表に記載のない事項については、法令に反しない範囲内において当事者間の取極め又は、慣習によります。

# 港 湾 荷 役 料 金 表

(総トン数1,000トン未満の小型船荷役料金)

平成7年6月16日認可

平成7年6月24日実施

# 港 湾 荷 役 料 金 表

(総トン数1,000トン未満の小型船荷役料金)

## I 料金の種類及び額

### 1. 基本料金

(1) 総トン数1,000トン未満500トン以上の小型船内↔

上屋・野積場内又は上屋・野積場前

(1トンにつき 単位円)

品 目				金 額			
				接岸本船 ↔ 上屋・野積場内		接岸本船 ↔ 上屋・野積場前	
				夏期料金	冬期料金	夏期料金	冬期料金
ユニ タイ ズ 貨 物	コンテナ	実 入		728	1,019	629	881
		空		619	867	533	746
	ノックダウン自動車・完成車 (重量5トン未満かつ容積20トン未満のもの)		1,287	1,802	1,188	1,663	
バラサイズ貨物・バンバック・バックコンテナ・プレスリング		1,619	2,267	1,492	2,089		
包	袋 物	紙・ビニール入りのもの		2,363	3,308	2,160	3,024
		麻袋入りのもの		2,008	2,811	1,866	2,612
	ペール物	葉タバコ		1,706	2,388	1,545	2,163
その他のペール物		2,343	3,280	2,134	2,988		
装 品	モーターサイクル		1,917	2,684	1,778	2,489	
	雑貨類・機械類 (1個当り5トン未満のもの)		2,494	3,492	2,310	3,234	
	機械類 (1個当り5トン以上のもの)・完成車 (重量5トン以上または容積20トン以上のもの)		1,796	2,514	1,645	2,303	
有 姿 貨 物	青果類		1,843	2,580	1,682	2,355	
	タイヤ		1,705	2,387	1,585	2,219	
	巻取紙 (内地産)		1,093	1,530	1,010	1,414	
木 材	岸壁揚のもの	原 木	米國材・南洋材	1,240	1,736	1,124	1,574
			北 洋 材	1,737	2,432	1,621	2,269
	製 材		1,352	1,893	1,231	1,723	
非鉄金属類 (半製品・銑鉄・地金)		1,983	2,776	1,795	2,513		
鋼 材	一般鋼材 (口径12インチ未満の鋼管含む)		1,634	2,288	1,537	2,152	
	鋼管 (口径12インチ以上のもの)・コイル		1,390	1,946	1,307	1,830	
石 材		1,976	2,766	1,847	2,586		
撤 貨 物	小麦・肥料原料・鉍礦石 (粉)		1,298	1,817	1,172	1,641	
	鉍礦石 (塊)・特殊鉍礦石		1,834	2,568	1,680	2,352	
	砂 糖		1,788	2,503	1,668	2,335	
特 殊 貨 物	冷 凍 品		—	—	3,648	5,107	
	冷 蔵 品		—	—	2,641	3,697	

注 夏期料金は4月1日から11月30日まで、冬期料金は12月1日から翌年3月31日までにそれぞれ適用します。



(2) 総トン数500トン未満の小型船内←→上屋・野積場内  
又は、上屋・野積場前

(1トンにつき 単位円)

品 目		金 額				
		接岸本船 ←→ 上屋・野積場内		接岸本船 ←→ 上屋・野積場前		
		夏期料金	冬期料金	夏期料金	冬期料金	
ユニ タ イ ズ 貨 物	コンテナ	実 入				
		空		728	1,019	
				584	818	
				619	867	
包	ロックダウン自動車・完成車 (重量5トン未満 かつ容積20トン未満のもの)		855	1,197	685	959
	袋 物	紙・ビニール入りのもの	1,082	1,515	866	1,212
		麻袋入りのもの	1,723	2,412	1,377	1,928
	ペール物	葉タバコ	1,219	1,707	975	1,365
その他のペール物		1,372	1,921	1,096	1,534	
装 品	モーターサイクル		1,784	2,498	1,427	1,998
	雑貨類・機械類 (1個当り5トン未満のもの)		1,195	1,673	957	1,340
	機械類 (1個当り5トン以上のもの)・完成車 (重量5トン以上または容積20トン以上のもの)		1,568	2,195	1,255	1,757
	青果類		1,294	1,812	1,036	1,450
有 貨	タイヤ		1,372	1,921	1,096	1,534
	巻取紙 (内地産)		1,023	1,432	818	1,145
	姿 貨	木 材	岸壁揚のもの	1,151	1,611	922
原 木			米国材・南洋材	998	1,397	800
		製 材	北 洋 材	989	1,385	792
物	非鉄金属類 (半製品・銑鉄・地金)		1,030	1,442	824	1,154
	鋼 材	一般鋼材 (口径12インチ未満の鋼管含む)	1,612	2,257	1,290	1,806
		鋼管 (口径12インチ以上のもの)・コイル	1,329	1,861	1,063	1,488
	石 材		1,130	1,582	904	1,266
撤 貨 物	小麦・肥料原料・鉱石 (粉)		1,115	1,561	893	1,250
	鉱石 (塊)・特殊鉱石		1,083	1,516	867	1,214
	砂 糖		1,323	1,852	1,058	1,481
特 殊 貨 物	冷 凍 品		1,032	1,443	826	1,156
	冷 蔵 品		—	—	1,689	2,365
			—	—	1,689	2,365

注 夏期料金は4月1日から11月30日まで、冬期料金は12月1日から翌年3月31日  
までにそれぞれ適用します。

## 2. 割増料金

種 別	内 容	割 増 率
半 夜 荷 役	16時30分から21時30分までの間における荷役	基本料金の6割増
日曜日・祝祭日荷役	日曜日・祝祭日における荷役	基本料金の10割増
雨天・雪天荷役	雨天・雪天時における荷役	基本料金の1割増

## 3. 割引料金

大口数量割引 基本料金の5%引

## 4. 分担金等

(1) 総トン数1,000トン未満500トン以上の小型船内

←→上屋・野積場内又は、上屋・野積場前

区 分	金 額
(1) 港湾福利分担金	各貨物 (一律) 1トンにつき 8円
(2) 労働安定基金	各貨物 (一律) 1トンにつき 7円

(2) 総トン数500トン未満の小型船内

←→上屋・野積場内又は、上屋・野積場前

区 分	金 額
(1) 港湾福利分担金	各貨物 (一律) 1トンにつき 4円
(2) 労働安定基金	各貨物 (一律) 1トンにつき 3円50銭

## 5. 消費税導入に伴う料金の加算

料金の総額の3%

## II 料金の適用方

### 1. 適用範囲

この港湾荷役料金（総トン数1,000トン未満の小型船荷役料金）は、

- (1) 総トン数1,000トン未満500トン以上の小型船の本船内↔上屋・野積場内又は戸前迄の荷役。
- (2) 総トン数500トン未満の小型船の本船内↔上屋・野積場内又は戸前迄の荷役に適用します。

ただし、(1)及び(2)に該当する小型船荷役で船内荷役のみ又は、沿岸荷役のみの場合は、当港において適用される港湾荷役料金（船内荷役料金）又は、港湾荷役料金（沿岸荷役料金）を適用します。

### 2. 作業範囲

基本料金が適用される作業範囲は、次のとおりとします。

ただし、関連事業に係る行為はのぞきます。

- (1) 「本船内↔上屋・野積場内」の場合  
(揚荷) 本船内の貨物を岸壁上に取卸し、上屋・野積場内へ移送、拼付するまでの作業。  
(積荷) 上屋・野積場内の貨物を岸壁に移送し、本船内に積込むまでの作業。
- (2) 「本船内↔上屋・野積場前」の場合  
(揚荷) 本船内の貨物を岸壁上に取卸し、上屋・野積場前又は、貨車・トラック等の車側へ移送する作業。  
(積荷) 上屋・野積場前又は、貨車・トラック等の車側にある貨物を岸壁上の移送し、接岸本船内に積込むまでの作業。

### 3. 料金表に記載のない貨物等

基本料金表に記載のない貨物については、基本料金表記載の貨物ど、荷姿、作業構成員数等が類似している場合は、その貨物の料金を適用し、類似した貨物がない場合は、委託者と協議の上、決定した料金を基本料金とします。

### 4. 割増料金

割増料金の適用方は、次のとおりとします。

- (1) 半夜荷役割増  
16時30分から21時30分までの間における荷役について、所定の半夜荷役割増を適用します。
- (2) 日曜日・祝祭日荷役割増  
日曜日、祝日及び祭日における荷役について、所定の日曜日・祝祭日荷役割増を適用します。
- (3) 雨天・雪天荷役割増  
委託者の要求により雨天・雪天時において荷役を行った場合に所定の雨天・雪天荷役割増を適用します。

## 5. 割引料金

大口数量割引の適用方は、次のとおりとします。

委託者からの1荷役の引受において、同一貨物の量が1,000トン以上の場合には、当該貨物全量について当該貨物の基本料金を乗じて得た金額から5%を割引ます。

## 6. 消費税導入に伴う料金の加算

免税となる取引には適用しません。

## 7. 料金の計算方

料金の計算方は、次によります。

- (1) 計算トン数は、重量、容積いずれが大なる方とし、重量は1,000キログラム、容積は1.133立方メートルをもって1トンとみなします。  
なお、慣例により重量に一定の係数を乗じて得た数値をもって計算トン数として  
いる場合には、その例によります。
- (2) 割増料金が重複する場合には、基本料金にそれぞれの割増率を乗じて各割増料金を算出し、これらの金額を合算します。
- (3) 消費税導入に伴う加算については
  - (イ) 料金の総額に3%を乗じて計算します。
  - (ロ) 上記により計算された金額に1円未満の端数が生じたときは1円単位に四捨五入します。

## 8. その他

- (1) 本料金を適用する荷役において、「上屋出しコンテナ詰又は、コンテナ出し上屋入れ作業」、「看貫作業」、「仕訳作業」、「はい替作業」及び「上屋保管」が伴う場合のこれら諸作業に係る料金は、当港において適用される港湾荷役料金（沿岸荷役料金）のそれぞれの料金を準用します。
- (2) 特殊貨物（特大品、変質・発熱・塵埃・悪臭・汚損の甚だしい貨物、海難貨物等）及び特殊荷役（海難船・特殊船の荷役、荒天時荷役、荷印その他仕訳を伴う荷役、見本採取等を伴う荷役、沿岸荷役における長距離移送等）の場合は、基本料金のほかに、委託者と協議の上決定した金額を申し受けます。
- (3) 委託者の要求により、特別の荷役機械、資材等を使用した場合には、委託者と協議の上、別途実費を申し受けます。
- (4) 本料金表に記載のない事項については、法令に反しない範囲内において、当事者間の取極め又は、慣習によります。